

コンソーシアムという試み

国立小山工業高等専門学校 校長 菊谷 勇 雅



展開されている。

その中でも、私は毎年12月に実施される「学生&企業研究発表会」に注目している。この研究発表会では、学生による地域に

ざしたまちづくり提案や地域産業の分析・支援のための研究、さらには日本の科学技術のイノベーションに大きく貢献する可能性を秘めた最先端研究など、それぞれの高等教育機関の特色と得意分野を活かした研究発表がなされる。昨年は49件もの発表があった。そして、その優劣が専門教員や学長、校長、産業界の有識者等の審査員によって審査され、知事賞や金賞、銀賞等が授与される。研究内容もどんどん進化しているが、十分な準備のもと、堂々と発表する学生のプレ

ゼンテーション能力の向上にも驚かされる。審査する立場からは、他大学等の学生の状況を知ることができることも含めてたいへん参考になる。

私がもうひとつ注目しているのは「ポランティアプロフェッサー事業」である。栃木県経済同友会から大学コンソーシアムとちぎの構成団体である各高等教育機関に無償で講師を派遣していただける事業で、企業経営者等の自らの体験やそれから得たこと、信念等のメッセージを直接学生に伝えるものである。初年度の24年度は3件と、まだ十分発展していないが、25年度はすでに21件が計画されているという。我が校は科学技術を基とする創造的技術者育成をめざしているが、先進的キャリア教育推進室を設け、キャリア教育にも力点をおいている。その意味で、このボランティアプロフェッサー事業は非常に有益であると考えられ、今後、積極的に経営者等の派遣をお願いしたいと考えている。

大学コンソーシアムとちぎが、学生の交流の場として、地域の課題解決のシンクタンクとして、さらに発展するよう、小山高専もその一員として務めたい。

大学コンソーシアムとちぎは、栃木県内の大学、高専等高等教育機関が緊密に連携し、地域文化と知の拠点として、地域社会や産業界のニーズに総合的に応えること、またこれを通じて教育研究活動を豊かに展開すること等を目的として2007年に結成された。4つの委員会がおかれ、それぞれ活発な事業展開を行っている。コンソーシアムの活動は大学等間の単位互換、学生活動支援、共同研究支援、学生&企業研究発表会、企業と大学等をつなぐ産学官連携相談、県事業への協力や県知事との懇談、広報誌・情報誌の発行等、枚挙にいとまがないほど幅広く



大学コンソーシアムとちぎ

平成23年度に採択された学生支援事業は以下の5事業でした。

学生生活動支援事業

事業名 第7回 緑を育てるための学生交流会

機関名 宇都宮大学
団体等名 NPOとちぎ生涯学習研究会
学生代表者 後藤 和史

宇都宮大学工学部
機械システム学科2年
責任教職員 藤井佐知子

支援金額 100,000円

実施時期 平成23年12月10日(土)

実施場所 宇都宮大学 峰キャンパス
峰ヶ丘講堂

事業の内容等

宇都宮大学峰ヶ丘講堂にて、「第7回緑を育てるための学生交流会」を12月10日に開催いたしました。

第1部「学生バンドによるチャリティーライブ」では、宇都宮大学のサークルだけでなく、第2部の「環境問題に関する講演会」では、宇都宮大学の進村武男学長をはじめ、社団法人栃木県造園建設業協会会長 高梨道太郎様、元衆議院議員 船田元様、そして栃木県知事 福田富様をお招きして、環境問題を中心とした、これからの栃木県の環境を担うことになる学生たちへの力強いメッセージをいただきました。

第3部では親睦会を通して、大学だけでなく県の枠を超えて親睦を深めることができました。

活動実施状況はとちぎ生涯学習研究会の母体であるNPO法人とちぎ生涯学習研究会HPに記載してあります。

http://www.geocities.jp/npo_1sst/midorihum

事業名 第2回 三命のメッセージ展 IN 風花祭

機関名 国際医療福祉大学
団体等名 ミ三命のメッセージ展実行委員会
学生代表者 大木亜莉奈

国際医療福祉大学
医療福祉・マネジメント学科1年
責任教職員 福井 康江

支援金額 100,000円

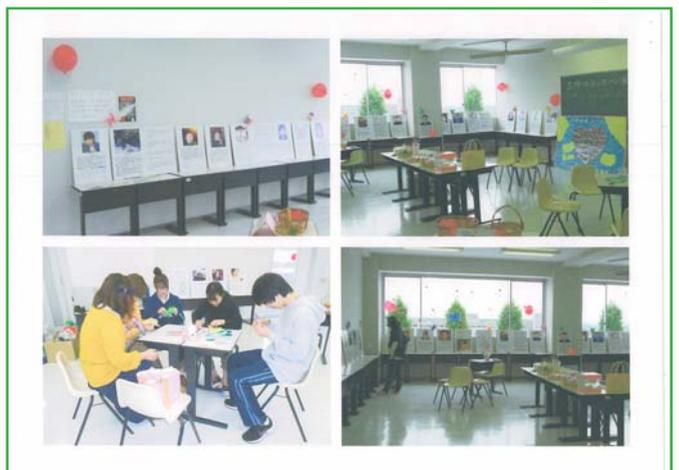
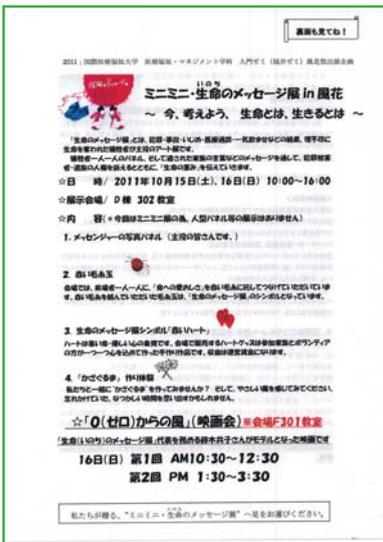
実施時期 平成23年10月15日(土)～
平成23年10月16日(日)

実施場所 国際医療福祉大学
D302教室およびF301教室

事業の内容等

「生命のメッセージ展」とは犯罪・事故・いじめ・医療過誤・一気飲ませなどの結果、理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展です。

犠牲者の一人一人のパネル、そして遺された家族の言葉などのメッセージを通して、犯罪被害者・遺族の人權を訴えるとともに「生命の重み」を伝えていきます。



ミニ三命のメッセージ展会場では、被災地支援に向けて2つの試みを行っています。

- 1、あしなが育英会 遺児のために「東北レインボーハウス」建設にむけての募金活動を行っています！
- 2、遠野まごころネットへ送る「お茶菓子」大募集しています。



大学コンソーシアムとちぎ

学生活動支援事業



事業名 第6回 第6回栃木県学生剣道大会

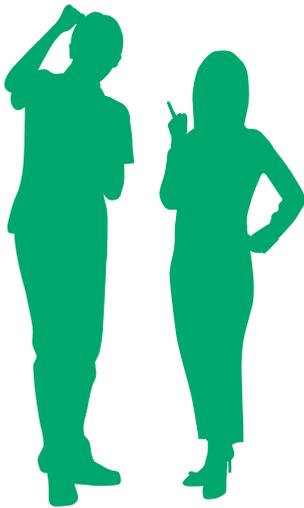
機関名 宇都宮大学、外7機関
団体等名 栃木県学生剣道大会実行委員会
学生代表者 澁谷 文哉
宇都宮大学工学部
応用化学科4年
責任教職員 松村 司朗
宇都宮大学教育学部教授
支援金額 100,000円
実施時期 平成23年6月4日(土)
実施場所 宇都宮大学第1体育館

《事業概要》

県内の大学剣道部の学生が実行委員会を組織し、大会内容、運営方法、栃木県剣道連盟との連携など協議しながら、全学生が試合参加に参加するとともに運営に携わりながら、大会を開催した。

《大会内容》

男女団体戦と男女個人戦とを行い、個人戦については、段位別の階級を設けた。また大会終了後には剣を通じての学生同士の交流の場として、合同稽古会を設けた。



事業名 ママ茶会α

機関名 宇都宮大学
団体等名 福島乳幼児妊産婦
学生代表者 学生ボランティア
須田 千温
宇都宮大学国際学部
国際社会学科4年
責任教職員 阪本久美子
宇都宮大学国際学部准教授
支援金額 72,439円
実施時期 平成23年4月21日(木)
平成24年3月30日
実施場所 宇都宮大学 栃木県内他

事業概要

本プロジェクトは、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電事故後、放射能汚染による健康被害の不安を抱える乳幼児や妊産婦を含む家族と、現在福島県から栃木県内に避難中の乳幼児や妊産婦を含む家族を対象としたきめ細かいサポートを実施している。事業名にある「α」とは、「α」対応の二環である「ママ茶会」実施前までのプロセスとしての事前聞き取り調査と実施後のプロセスとしての対応を意味する。

具体的な事業内容

プロジェクト全体との共同活動として、乳幼児、妊産婦家庭に対する避難所・お茶会メニュー相談によるニーズ聞き取り調査に協力し、学生が主体として情報収集した住宅情報の提供(住宅マッチング)、家財道具、保育サポート(託児・保育園・幼稚園の情報提供)など、個別のニーズに合わせたサポートを行っている。学生主体の活動では、妊産婦さんや乳幼児をもつお母さんのストレス解消や孤立を防ぐ

ためのお母さん同士のネットワーク構築、ニーズ聞き取りを目的とした、おしゃべりボランティアやお茶会を行っている。

事業名 CommunitEA

機関名 宇都宮大学
団体等名 Make it Happen!
学生代表者 落合奈保子
宇都宮大学大学院
農学研究科修士課程1年
責任教職員 児玉 剛史
宇都宮大学農学部准教授
支援金額 100,000円
実施時期 平成23年10月(木)
平成24年3月
実施場所 宇都宮市江野町4-7
(オリオン通りアーケード内)

事業の内容等

本事業は宇都宮市役所商工振興課の事業である「学生による空き店舗活用事業」の優秀提案に選ばれた中の一つであり、「多角的交流の場」というコンセプトの下、地産地消・国際交流・アートとの交流の3つのテーマをカフェで市民の方々に提供している。具体的には、カフェの空間を市民の方や若手アーティストの作品で作り、音楽ライブのイベントも催した。料理は地元野菜を使った手作りの料理を提供し、特にガレット(そば粉のクレープ)を押し進め、ガレットの認知を普及に努めている。また国際交流においては、宇都宮大学留学生をウェイター・ウェイトレスに起用し、身近な国際交流を展開している。

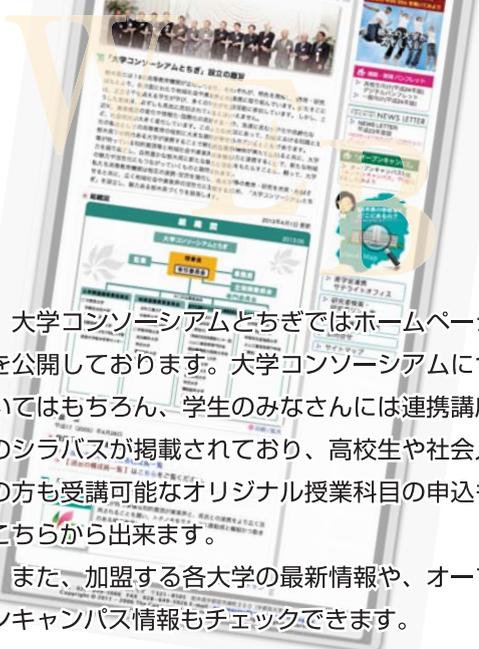
営業時間：11時～19時(水曜日定休日)

チェック!

大学コンソーシアムとちぎの ホームページが

公開されています。

<http://www.consortium-tochigi.jp/>



大学コンソーシアムとちぎではホームページを公開しております。大学コンソーシアムについてはもちろん、学生のみならずには連携講座のシラバスが掲載されており、高校生や社会人の方も受講可能なオリジナル授業科目の申込みこちらから出来ます。

また、加盟する各大学の最新情報や、オープンキャンパス情報もチェックできます。

大学コンソーシアムとちぎ役員 (平成24年4月1日現在)

| | | |
|---------------------------|-------|-------------------------|
| 理事長 | 進村 武男 | 宇都宮大学長 |
| 副理事長 | 牛山 泉 | 足利工業大学長 |
| 副理事長 | 北島 政樹 | 国際医療福祉大学長 |
| 副理事長 | 上野 憲示 | 文星芸術大学長 |
| 理事 | 谷萩 昌道 | 足利短期大学長 |
| 理事 | 須賀 英之 | 宇都宮共和大学長・宇都宮短期大学長 |
| 理事 | 上野 孝子 | 宇都宮文星短期大学長 |
| 理事 | 苜谷 勇雅 | 小山工業高等専門学校長 |
| 理事 | 太田 正廣 | 関東職業能力開発大学校長 |
| 理事 | 中村 幸弘 | 國學院大學栃木短期大学長 |
| 理事 | 太田 周 | 作新学院大学長・作新学院大学女子短期大学部学長 |
| 理事 | 輿水 優 | 佐野短期大学長 |
| 理事 | 永井 良三 | 自治医科大学長 |
| 理事 | 冲永 佳史 | 帝京大学長 |
| 理事 | 稲葉 憲之 | 獨協医科大学長 |
| 理事 | 森山 眞弓 | 白鷗大学長 |
| 理事 | 鯨井 佑士 | 放送大学栃木学習センター所長 |
| 理事 | 関根 房三 | 栃木県総合政策部長 |
| 理事 | 板橋 敏雄 | 公益社団法人栃木県経済同友会 筆頭代表幹事 |
| 理事(事務局) | 石田 朋靖 | 宇都宮大学 理事 |
| 監事 | 内野 直忠 | 学校法人船田教育会 監事 |
| 監事 | 桑名 正史 | 公益社団法人栃木県経済同友会 専務理事 |
| 産学官連携サテライト オフィス事業委員会委員 | 鈴木 昇 | 宇都宮大学地域共生研究開発 センター長 |

編集後記

大学コンソーシアムとちぎは、平成17年4月に発足し、8年目を迎えようとしております。

本大学コンソーシアムとちぎは、県内の19の高等教育機関が共同して、相互の連携・交流を強化し、各大学等の教育・研究を充実・発展させると共に、広く地域社会や産業界の活性化に貢献し、魅力ある栃木県づくりを目指すことを目的としております。その目的を達成するためには、産学官連携を始め県民、市民と共生し地域力を掘り起こすシンクタンクの役割を担うことが必要であると思っています。とは言っても「大学コンソーシアムとちぎ」の知名度はまだ十分に認知されているとは思いませんし、序々にでも知名度をあげるために、前述の産学官連携による特色ある事業の展開や地域住民との交流の場の展開が必要であり実施していくことが重要と考えます。

本大学コンソーシアムとちぎ活動の一助となるよう事務局としてサポートしていきたいと思いますが、それには、構成機関の担当者を始め、構成員の皆様のご協力、ご鞭撻が必須であります。

本大学コンソーシアムとちぎが、皆様に知られ、親しまれ、活躍の場となるよう努力してまいりますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

事務局担当 沼尾 建男

大学コンソーシアムとちぎ参加校 50音順

- 足利工業大学 足利短期大学 宇都宮共和大学 宇都宮短期大学 宇都宮大学
 宇都宮文星短期大学 小山工業高等専門学校 関東職業能力開発大学校 國學院大學栃木短期大学 国際医療福祉大学
 作新学院大学 作新学院大学女子短期大学部 佐野短期大学 自治医科大学 帝京大学
 獨協医科大学 白鷗大学 文星芸術大学 放送大学栃木学習センター